

第19回『上野しのばず学習会』のご案内

テーマ：1960年代 東京湾新浜干潟の保護運動から育ったもの

と き：2020年1月25日(土) 午後2時 - 4時

時 間：午後1時45分開場 学習会午後2時～4時 交流会と後片付け5時までで終了

場 所：「谷中の家」台東区谷中3-17-11 路地に面し壁面を木で格子状に覆った民家です。東京メトロ千駄木駅2出口より徒歩7分、またはJR・京成日暮里駅

北口より徒歩10分、またはJR 西日暮里駅道灌山口より徒歩7分（地図参照）

主 催：しのばず自然観察会 話題提供：小川潔（しのばず自然観察会代表）

参加費：しのばず自然観察会と上野のお山を学ぶ会会員は無料、会員外200円

連絡先：小川潔（電話 03-3828-8775 当日午後1時20分まで）



日本の市民による自然保護運動の先駆けとも言われる1960年代半ばの東京湾新浜干潟を守る活動を振り返ります。そこで提起された自然保護問題、いや日本の民主主義そのものの構造的問題点を探ります。また自然という場が市民としての人間形成に与えた力とその後の運動を支えた市民の視点を、千葉の干潟を守る会初代代表・大浜清さんの個人史から考えます。

1966年放映のNHK TV番組「現代の映像」ビデオから、当時の東京湾の埋め立て状況と、埋め立てにその後の反映を期待する人々、野鳥の渡来地を残したいと活動する人々の気持ちを知ること（放映部分には「やらせ」があったという声も聞きますが）。

自然観察会や自然保護の活動に参加した人々の中には、新浜体験を経た人が数多くいます。新浜を出発点として、自然保護運動の中心的担い手になっていった大浜さんの個人史は、時代の社会背景のなかで自立的市民の生き方を浮き彫りにすることでしょう。

しのばず自然観察会 事務局 〒110-0001 台東区谷中3-1-9 小川潔 方

1975年創立 電話 03-3828-8775 URL: <http://sinobazu.extrem.ne.jp>

『上野しのばず学習会』は次回「日本のタンポポとセイヨウタンポポ」で終了予定です。